

# 全国学力・学習状況調査を 活用した学力向上の取組

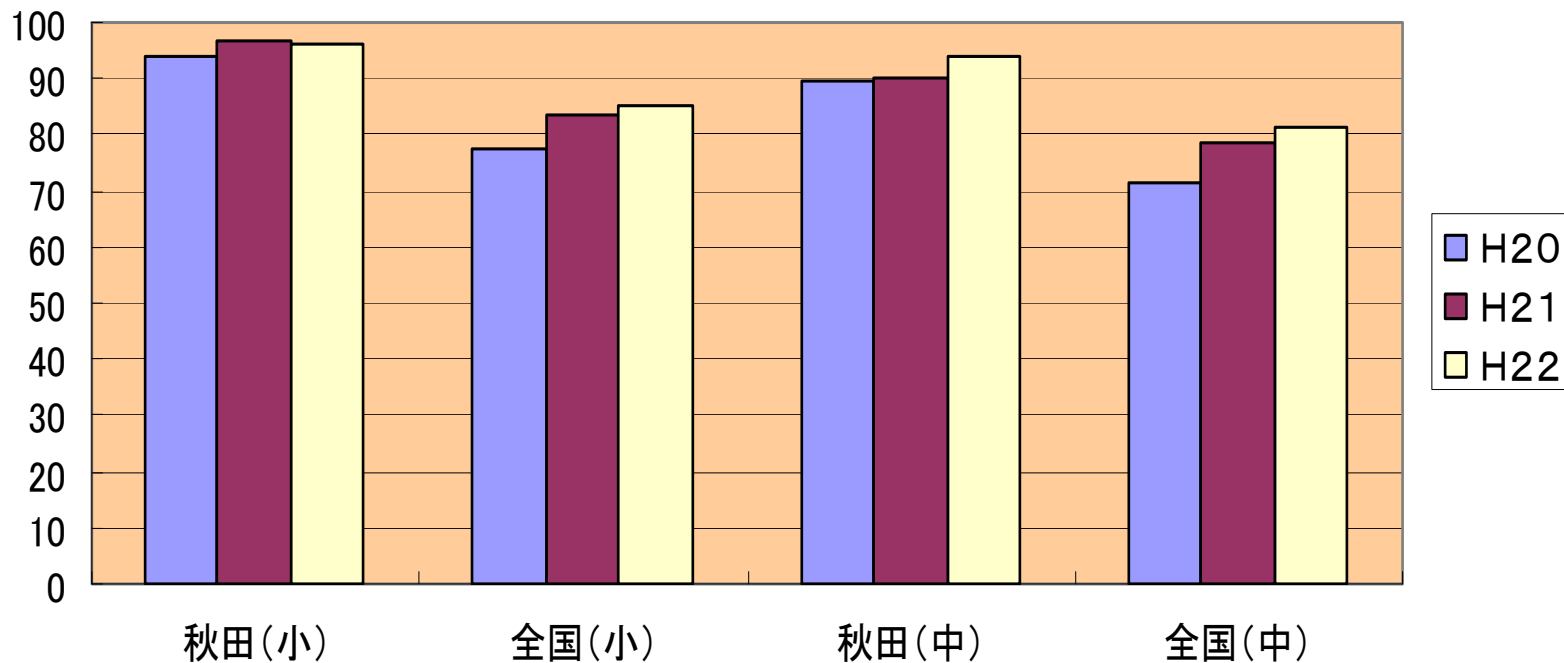
- ①活用の状況
- ②検証改善サイクルの確立
- ③取組、事業等

秋田県教育委員会

# 学校質問紙より

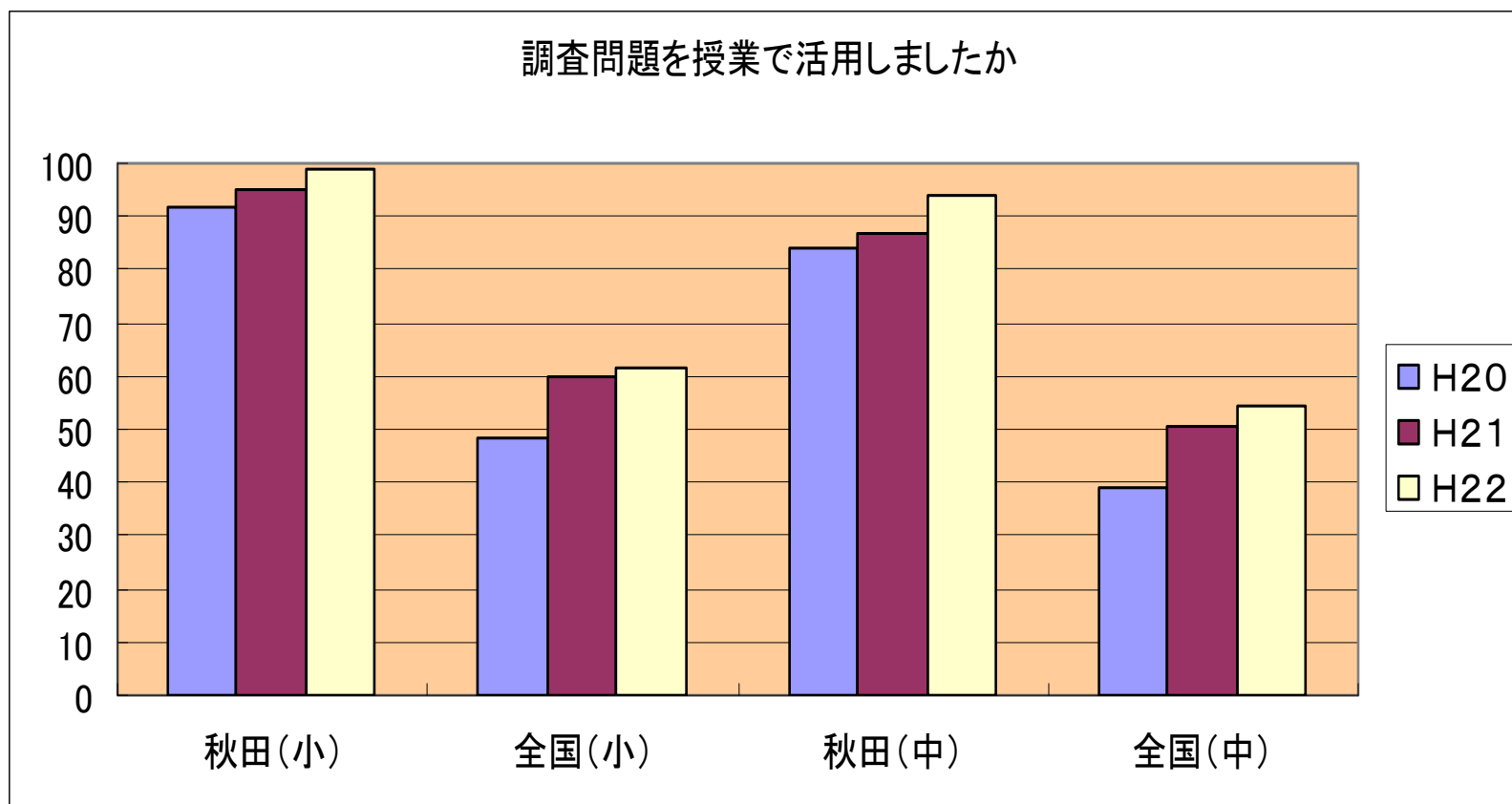
全国学力・学習状況調査の結果を調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で活用しましたか

調査結果を学校全体で活用しましたか

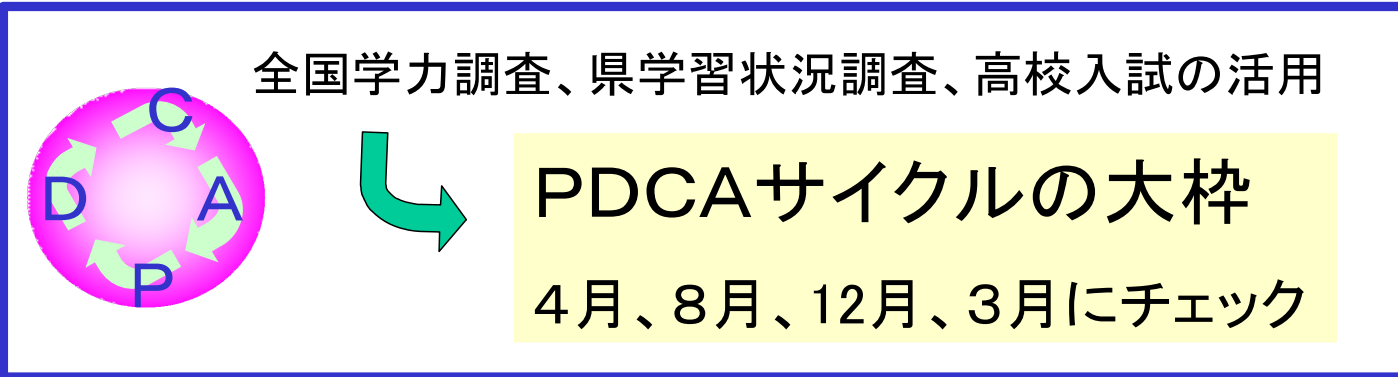


# 学校質問紙より

全国学力・学習状況調査の調査問題を授業の中で活用しましたか

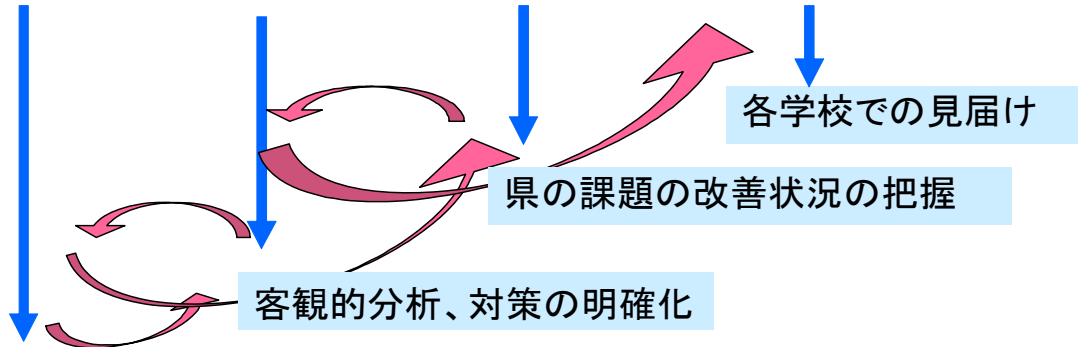


# 国・県の学力調査及び高校入試を一体としてとらえた検証改善サイクルの確立



4月……7月・8月……12月……3月……次年度

各校で自己採点    結果発表    学習状況調査    高校入試    各校で改善状況の把握



問題分析……求められる力、授業改善の方向を確認

各校自己採点…個別指導、授業改善

# 県学習状況調査と全国学力調査

加法と乗法の混合した計算(小学校)の例

H22

93.7%

問題

$50 + 150 \times 2$  (国)

65.9%

問題

H17

76.8%

$16 + 4 \times 5$  (県)

問題

H12

56.2%

$100 - 30 \times 3$  (県)

# 県学習状況調査と全国学力調査

- 数量を等分したときの1つ分を分数で表す  
(小学校)問題の例

問題:2リットルのジュースを3等分すると1つ分の量は何リットルですか(全国調査)

H21 70.7% (県)

↑ 図入り問題

H17 52.8% (県)

H22全国学力調査

64.2% (秋田県)

40.2% (全国)

# 「活用」を意識した高校入試問題

## 理科の例

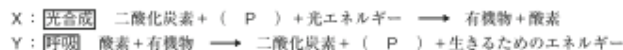
ベネッセ「VIEW W21」で紹介

祖父から聞いた話と既習の知識を活用して観察・実験を行う設定。

結果を考察させたり、事象を数式で表現させたりする問題。

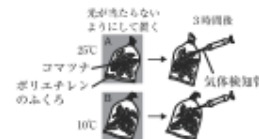
- ③ 春子さんは、野菜づくりをしている祖父から「生育が盛んな時期には、作物によっては、昼に日光がたくさん当たるだけでなく、夜の涼しさも大切である。」という話を聞いた。夜間の気温は作物の生育に影響を与えるのだろうかという疑問をもった春子さんは、次のように考え、コマツナを使って調べた。あとの(1)～(5)の間に答えなさい。

植物ではXで示されるように、光合成の反応によって有機物がつくられます。この有機物は、生育のためだけでなくYで示される呼吸の反応にも使われます。そこで、温度と呼吸の関係を調べる実験を行い、m生育のために使うことのできる有機物の量について考察したいと思います。



### 【実験】

同じ大きさの2枚のポリエチレンのふくろに同じ質量の新鮮なコマツナをそれぞれ入れ、室内の空気を十分に入れてから密閉し、一方をA、もう一方をBとした。Aを25℃、Bを10℃の場所にそれぞれ光が当たらないようにして置いた。



3時間後、A、Bの気体中の酸素および二酸化炭素の割合を気体検知管で測定し、結果を表1にまとめた。なお、ポリエチレンのふくろに室内の空気のみを入れて同じ実験を行ったところ、気体の割合に変化がなかった。

結果から、呼吸によって出入りする気体の量は温度の低い方が(Q)といえます。夜間の気温が低いとき、呼吸による有機物の消費量は(R)、その分、生育のために使うことのできる有機物の量は(S)と考えられます。以上のことから、夜間の気温はコマツナの生育に影響を与えていると推測されます。

表1

	酸素の割合	二酸化炭素の割合
室内の空気	21.0%	0.04%
3時間後のA	19.0%	2.00%
3時間後のB	20.3%	0.65%

- (1) Pには共通した物質が入る。それは何か、物質名を書きなさい。
- (2) 表2に示す植物のつくりの4つの部分について、Yで示される呼吸をしている部分には○を、していない部分には×を、表2の空欄に書き入れなさい。
- (3) 光合成による有機物の生産量をa、昼の呼吸による有機物の消費量をb、夜の呼吸による有機物の消費量をcとする。このとき下線部mの量を表した式として最も適切なものは次のどれか、1つ選んで記号を書きなさい。

表2

	つくり	花	葉	茎	根
呼吸をしているか					

ア a-b    イ a+c    ウ a-c    エ a+b-c    オ a-b-c

# H21学校改善支援プランより

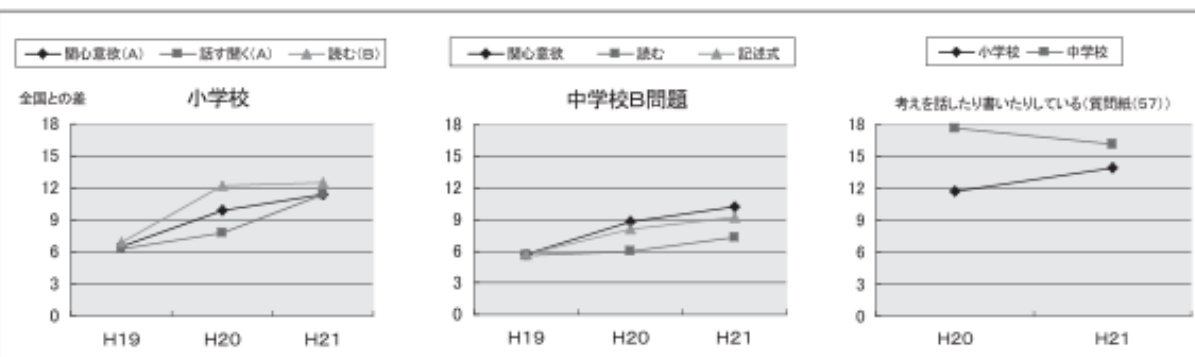
## 国語の例

成果と課題を明示。  
 国語では、目的に応じて、  
 資料を活用して書く力に  
 課題。

### (1) 3年間を通しての成果

#### 国語

- ・小・中学校の各領域で、全国水準を上回っている。特に、国語への関心・意欲・態度(小・中)、読むこと(小・中)、小学校における「話すこと・聞くこと」について、年度を追うごとに、全国との差が大きくなっている。
- ・主に「書く能力」「読む能力」が問われる記述式の問題について、中学校のB問題で、全国との差が大きくなっている。
- ・話し合いや意見交換をする学習活動が充実し、「国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり書いたり」している児童生徒が多い。



#### <今後の課題>

- ・文章に述べられている意見に対して自分の考えをもち、それを話したり書いたりする力に課題がある。二つの意見を比べたり評価したりしながら自分の考えをもつことを一層重視していく必要がある。
- ・目的や条件に応じて考えを書く力に課題がある。  
 小学校→目的に応じて資料を活用し、伝えたいことを明確にして書くこと  
 中学校→書き手の意図をとらえて読み取ったことを条件に応じて書くこと



# H21 学校改善支援プランより

## (2) 授業改善の視点

### 国語

【例1】 目的に応じ、資料を活用して書く力を付けるために

〔1単位時間における指導例〕（小学校第1学年）〈教材名：どうぶつの赤ちゃん（光村図書）〉

**本時のねらい** ・ 紹介文を書くために、自分の選んだ本から必要な事柄を観点に沿って集めることができる。

〈指導のポイント〉

- ・ 文章全体を読んで、目的に応じて情報を取捨選択する学習活動を、低学年から取り入れる。
- ・ 「書くこと」のプロセスに沿った推敲や評価の仕方を身に付けさせる。

#### 児童の思い

・ 「体の大きさ」「目や耳の大きさ」のことは選べばいいんだね。

・ 前に勉強したように、順序を表す言葉を見付けると分かりやすいね。「生まれてすぐの」「もっと大きくなると」とあるから……。

・ そうか！この紹介文には、育っていく様子を書くのだから、僕には□□のことより◇◇のことを入れた方がいいんだ！

#### 学習活動

##### 学習課題

〇〇の赤ちゃんのうまれたばかりのようすと、大きくなっていくようすをほんから見つけよう。

- 1 必要な事柄の見付け方を確かめる。
- 2 読書タイムに自分の選んだ本を読み返し、紹介文に必要な事柄を見付けて付箋をはる。
- 3 同じ動物の本を選んだ友達とペアになり、見付けた事柄を確かめる。
- 4 発表してよさを確認し合う。
- 5 本時の振り返りをし、次時の見通しをもつ。

#### 留意点

- ◎ 取捨選択の意識を高める。
  - ・ 情報選択の観点を児童自身に気付かせる。
  - ・ 目的に応じて情報を取捨選択することの意味を、モデルから学ばせる。
- ◎ 分類による情報の取り出し方を身に付けさせる。
  - ・ 付箋の色分けや必要な事柄をメモすることによって、情報が取り出しやすくなることに気付かせる。
- ◎ 推敲や評価のポイントを明確にする。
  - ・ 目的に応じているかを視点に、互いの選材の仕方を吟味させる。

実際の指導例をもとに、授業改善の視点について、実

# 秋田の子どもたちの生活習慣や学習意欲、学校の熱意ある 取り組み、それらを支えている家庭や地域のよさを表現

## 秋田わか杉っ子 学びの十か条

一 早起早おき朝ごはんに家庭学習

規則正しい生活がスタートライン

二 学校の話題ではずむ一家団らん

笑いが脳を活性化

三 読書で拓く心と世界

めくるページ、広がる想像力

四 話して書いて伝え合う国語

国語力は学びの基本

五 難問・難題にも挑戦する算数・数学

あきらめずやりきることで能力アップ

六 新発見の連続、広がる総合

総合の時間は脳のビタミン

七 きまり、ルールは守ってあたりまえ

落ち着いた教室で高まる集中力

八 いつも気をつけている言葉づかい

相手意識でみかく活用力

九 説明は筋道立てて伝わるように

整理する工夫が脳のトレーニング

十 学んだことは生活で学校ですぐ活用

活用できて本当の生きる力

# 一人一人の学力を伸ばすあきたの学校 ～5つのエッセンス～

## 一 学校体制でP D C Aサイクルの確立

毎年、効果のある取り組みを進めている学校では、個々の教職員の力量頼みではなく、組織として検証改善のシステムが確立されています。例えば、「教育目標やその達成に向けた方策について共通理解が図られている」「全国調査等の問題及び結果等を全校体制で活用する」などの調査項目で、本県は全国を大きく上回っています。P D C Aサイクルを確立しつつ、教職員の共同研究・共同検討を大切にしていることがわかります。

## 二 子どもたちが積極的に授業に参加できる学校空間

学校質問紙では「熱意をもって勉強している」「授業中の私語が少なく落ち着いている」「礼儀正しい」などが全国を大きく上回ります。また、児童・生徒質問紙でも「難しいことでも挑戦する」「自分にはよいところがある」などが全国よりもよい結果です。本県の子どもの前向きで真摯な姿勢が浮かび上がってきます。これは、教師や学年・学校での丁寧な生徒指導や授業づくりが生み出した成果です。

## 三 子どもたちの思考を促し深める授業づくり

本県では、子どもたちが自ら考えることを大切にする授業が多く行われています。また、それをグループで話し合ったり、学級全体で意見交換をさせたりする授業も盛んです。「自分の考えを発表する」「よく話し合う」「グループで調べる」などが全国を大きく上回ります。ただし、子どもの思考を促し、相互に深めさせていく授業では、教師の高い指導力が求められます。そのためにも、教師相互の質の高い共同研究が大切です。

## 四 自発的学習を生み出すきめ細かな指導

子どもたちに確実に学力を身に付けさせるためには、家庭学習の充実、朝・昼・放課後等での補充的学習の取り組みを大切にすることが必要です。それも、教師待ちでない自発的な学習を促す指導が大切です。本県では、「授業の復習を家でする」「自分で計画を立てて学習する」などが全国を大きく上回ります。今後さらなる学力向上を期して家庭学習充実のための指導、補充的学習の取り組み、課題の与え方等を、学校の体制として継続的に取り組むことが求められます。

## 五 豊かな教育力を生む学校・家庭・地域の強い連携

家庭と地域が、強く学校を支持してくれていることが、本県の教育の強みです。子どもたちの授業への姿勢、家庭学習の充実なども、それとかわりがあります。本県では「ハロースクール&ほっとエリア運動」を進めてきた結果、「授業公開など学校公開日を設けている」「学力調査結果を保護者や地域の人に説明した」などが全国を大きく上回っています。保護者が地域の人たちが学校の教育活動に参加している学校ほど、学力が高いという傾向も見られます。学校・家庭・地域の連携が豊かな教育力を生み出します。

「安定した結果を示している学校」「課題の改善状況が顕著である学校」「特徴を調べてしまつめたもの

# 学力向上に係る事業等 ①

## 少人数学習推進事業

### 趣旨

子どもの個性を生かし、子どもの多様性に応える教育活動を展開する

### 内容

小学校低学年及び中学校1年生において、生活集団及び学習集団の少人数化を図り、基本的な生活習慣を身に付けさせ、安定した学校生活を確保する。

小学校3年生から6年生及び中学校2・3年生においては、20人程度の学習度の学習集団による少人数授業を展開し、基礎学力の定着・向上を図る。

33人以上の学級をもつ学年に少人数学習のための人的配置

30人程度の学級編制

TT等での学習集団の少人数化

小学校 1年
2年
3年
4年
5年
6年
中学校 1年
2年
3年

基本教科で20人程度の少人数授業ができるように人的配置

小：国・算・理

中：数・理・英

# 学力向上に係る事業等 ②



Let's Challenge!!

今年も 楽しもう!! 挑戦しよう!!

## わか杉思考コンテスト2010

難問に挑戦したい人、自分の力を試したい人、全員集合

県内の小・中学生であれば誰でも参加できます。参加費は無料です。夏休み明けに参加申し込みのお知らせをします。みなさん、奮って応募してください。

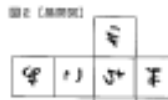
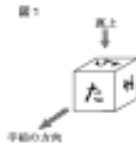
期日は11月13日(土)!

- 1 時間 午前9:00~午前11:00
- 2 会場 県内11会場を予定
- 3 対象 小学校5・6年生(小4以下の参加も可)、中学生
- 4 問題 算数・数学や理科を中心とした思考力や創造力を試す内容。問題数は5~6題。
- 5 表彰 最優秀賞(満点賞)、優秀賞、優良賞

8月下旬~9月中旬発表

こんな問題が出ます  
(今年秋に出題された思考コンテストの問題より)

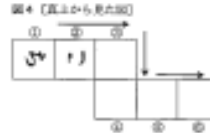
問題2 6つの面に「あ」「き」「あ」「こ」「ま」「る」の6文字が1つずつ書かれている立方体(図1)があります。図2はこの立方体の展開図です。この立方体を手前の方向に立て、真上から見たときの様子について、(問1)、(問2)に答えなさい。



(問1) 図3は、この立方体を図1の状態から手前の方向にころがしたときに真上から見てどのように見えたかを書いたものです。①は図1の状態で、②は手前の方向に1面ころがしたときのものです。もう1面手前の方向にころがしたときの見え方を③の□に入しなさい。



(問2) 図4は、この立方体を図1の状態からころがしたときに真上から見てどのように見えたかを書いたものです。①は図1の状態で、②は右に1面ころがしたときのものです。③~⑤まで矢印の向きにころがしたときの見え方を③~⑤の□に入しなさい。



# 思考力や創造力を養う「わか杉思考コンテスト」

・秋田県内の11会場で実施

## 参加者数(人)

	小	中	計
H22	777	980	1757
H21	521	778	1299
H20	470	695	1165

# 学力向上に係る事業等 ③

## 小学校まなび・ふれあい充実事業

総務課・義務教育課

### 1 事業概要・ねらい

普通学級6～7学級の小学校へ臨時講師を1名加配し、教育課程編成や指導方法の工夫改善による学校課題の解決に取り組む



小学校教員 { ○子供理解のプロ→◎複数の目による子供理解  
・教科指導のプロ→○得意教科を生かした指導

小規模小学校の活性化

### 2 教員1名配置によるメリット

\* 加配によって生み出された時間を活用して、他の教員も得意分野を生かした教科指導を担当する

(活用例1) 各教員の得意分野を生かした質の高い授業の実践

学年	担任	国語	書写	社会	算数	理科	生活	音楽	図工	家庭	体育	道	特	総
1年	A								K		S			
2年	B								K		S			
3年	C		B		S	F								
4年	D		B		S	F								
5年	E	B	B		S	F		D	C	A				
6年	F	E	B		S			D	C	A				

※S: 加配教員 K: 教頭

(活用例2) 複数教員の全学年指導で児童理解の深化

学年	担任	国語	書写	社会	算数	理科	生活	音楽	図工	家庭	体育	道	特	総
1年	A						AC				SK			
2年	B		C				BD				SK			
3年	C				CD	S					SC			
4年	D		C		CD	S			K		SD			
5年	E		C		EF	S		D	K		EF			
6年	F		C		EF	S		D	K		EF			

※S: 加配教員 K: 教頭 C: 生徒指導主事

#### ①学習意欲の向上と学習指導の充実

- ・学年の系統性を見通し、教科の魅力を味わわせる質の高い授業の提供
- ・児童の興味・関心の喚起
- ・教科の専門性を生かした「補足的な学習」や「発展的な学習」など一層きめ細かな指導の実現
- ・小学校外国語活動の効果的な実施

#### ②触れ合いの確保による児童理解の充実

- ・複数教師による多面的児童理解による積極的な生徒指導の実現
- ・子どもと向き合う時間を確保し、複数の目と手をかけることで、児童や保護者の安心感や信頼感が増大

#### ③教育課程の工夫による学校課題の解決

- ・学習指導や生徒指導の課題解決に対応した教育課程の実現

#### ④小・中学校の円滑な接続

- ・中学校入学時から中学校の学習や生活に適応可能

# 学力向上に係る事業等 ④

## 特色ある教育活動支援事業

義務教育課



### 【本県の小・中学生の好結果の現状】

☆全国調査から

- 「全国学力・学習状況調査」
- 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」
- 「問題行動調査」

### 【本県の小・中学生、大人の課題】

★平均的には資質や能力は高いが…

- ▲大きな夢をもち続ける児童生徒
- ▲傑出した人材の輩出
- ▲独創性や創造性、多様性に富む人材の育成

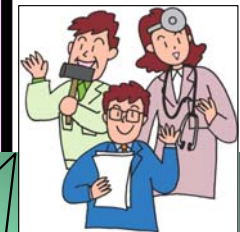
【ねらい】市町村教育委員会からの、小・中学校を単位とした特色ある教育プロジェクトの提案を基に、児童生徒のさらなる飛躍を促す取り組みを推進する。



### 【例えば…】

- 英語教育
- スポーツ
- 異文化体験
- 読書
- 芸術

テーマ例



アイデアの提案

学校単独  
または  
中学校区程度

プレゼンテーション

県

審査委員会の審査

財政支援

上限500万円  
×10校×2年間

小・中連携

＜期待される成果＞

大きな夢に挑戦する児童生徒  
世界に羽ばたく秋田っ子  
の育成



# 市町村教育委員会の取組例

## 潟上市立小・中学校

- ・校長会を月1回開催
- ・全国学力調査結果を各校で分析し、情報交換
- ・学力向上についての取組を紹介し合い、自校の取組の参考にする

### 小学校の取組例

授業で活用した資料や教材を教室環境に活用

県実施の算数単元評価問題を授業で活用

朝自習の時間を利用して、短作文を書かせ、書く力を育成

### 中学校の取組例

1・2・3 (ワン、ツー、スリー) 運動

TVやゲームは1時間

家庭学習は2時間を！

部活動は3時間以内



# 行政と民間企業が一体となった教育活動

- ・地域に根差し本県の将来を支える高い志を持った人材育成
- ・社会が要求する高い専門性に対応できる人材の育成
- ・世界で活躍できる人材の育成

## NPO法人「あきた・まなVIVA！創造塾」

平成22年10月5日設立

### 本年度事業①

#### わか杉思考 コンテスト

「思考力や創造力を養い、算数・数学や理科を一層発展的に学ぼうとする意欲を向上させる」

### 本年度事業②

#### 学力向上県 民フォーラム

H22.11.20

「秋田・福井の教育徹底討論」

「県民の教育に対する関心を一層高め、本県学校教育のさらなる充実に資する」

### 本年度事業③

#### エコノミクス 甲子園

「金融経済の仕組みの理解と、ライフスタイルを考えるきっかけとする」